

演習・プロジェクト科目の構成

年次縦断型PBL

4年次

卒業研究・開発型プロジェクト

3年次

基礎プロジェクト

環境パフォーマンス

(建築デザインコース向け)

2年次

情報環境プラクティス

環境計画演習

(建築デザインコース向け)

1年次

今年度
から追加

技術日本語表現法

演習・プロジェクト科目の概要

- 2年次: 情報環境プラクティス
 - 前期と後期それぞれ別のテーマについて演習・実習、**レポート**提出
 - プログラム、ネットワーク構築、画像処理、信号処理、心理評価etc
 - 建築デザインコースは「環境計画演習」
- 3年次: 基礎プロジェクト
 - **研究室**で、基礎的なテーマに取り組み、ポスター形式で発表
 - 調査、企画、試作開発etc
 - 建築デザインコースは「環境パフォーマンス」
 - 就活にも関係

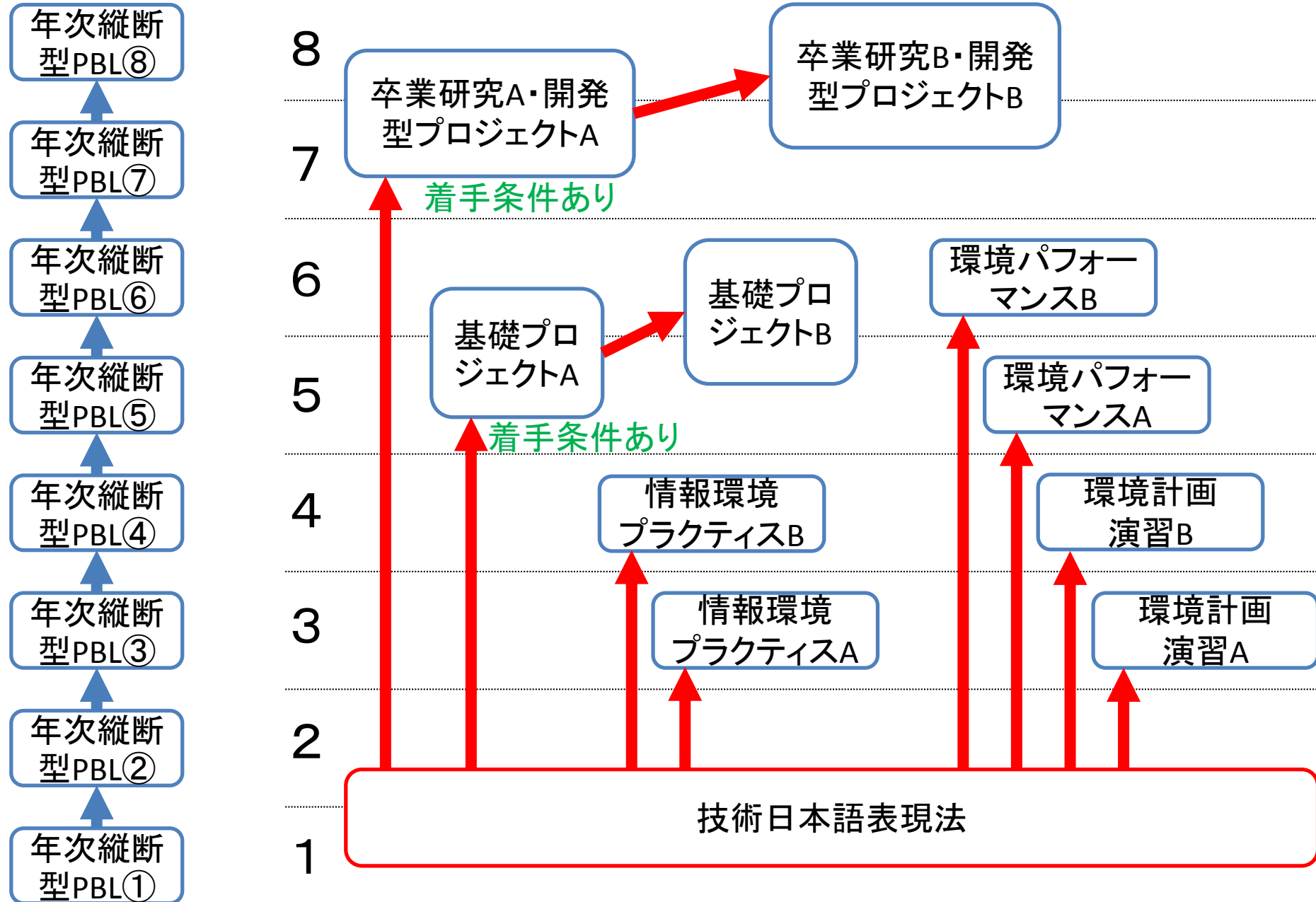


演習・プロジェクト科目の概要(続)

- 4年次: 卒業研究・開発型プロジェクト
 - 研究室で、**実際的なテーマ**に取り組む
 - 口頭発表、梗概と卒論の執筆
- 年次縦断型PBL
 - チームでテーマに取り組む
 - **学年次間**の交流
 - コミュニケーション能力、問題解決能力などを育成

事前履修条件(今年度から)

推奨セメスター



演習・プロジェクト科目の注意点

- 導入・リテラシー科目の「**技術日本語表現法**」が事前履修条件
 - この科目が**事実上の必修**
 - ただし、**14JKのみ**
 - 「年次縦断型PBL」は除く
- 基礎プロジェクト
 - AとBは同時開講だが、**A→B順**に履修
 - 着手条件がある(学生要覧p.???)

演習・プロジェクト科目の注意点(続)

- 卒業研究・開発型プロジェクト
 - AとBは同時開講だが、A→B順に履修
 - 着手条件がある(学生要覧p.???)
- 1セメスターで履修できるのは...
 - 「年次縦断型PBL」1科目と、それ以外の1科目のみ

技術日本語表現法の履修

- レポート、卒業論文、就職してからの各種文書
 - 評価されなければ意味が無い
 - 評価されるためには読んでもらわなければいけない
 - **読み手に読みやすい形式**で書く必要
- **14JK学生のみ**が対象

技術日本語表現法の履修(続)

- クラス分け: 前期3クラス、後期2クラス
 - 各クラスは学籍番号で振り分ける
 - クラス入れ替えの希望は受け付けるが、必ずしも希望通りになるとは限らない。詳しくは**掲示を参照**のこと
- 前期・後期どちらも、単位を落とした場合の**再履修は来年度前期**
 - 今年度前期に単位を落としても、後期に再履修は出来ない

今後のガイダンス

- 年次縦断型PBL: 4月15日
詳細は掲示を参照のこと
- 技術日本語表現法: 初回講義
確定したクラス分けは、掲示(4月11日)を参照のこと